

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪	平成20年2月6日	水野 倫理	〒550-0014 大阪市西区北堀江2-14-3 (電話) 06-6537-4333				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 水野学園	昭和58年4月1日	水野 孝彦	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-29-2 (電話) 03-3499-0350				
目的	ジュエリー研究科は、ジュエリー・アクセサリ業界において、商品開発(企画・デザイン・製作)ならびに商品販売、および関連する商品知識を持ち、企業で活躍する人材または起業する人材を育成することを目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	ジュエリー専門課程(文化教養)	ジュエリー研究科(クリエイティブジュエリーコース)	平成21年文部科学省告示第21号	0			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3252	84	192	4692	0	1024
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人		62人	14人	5人	19人		
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価基準は、90点以上をA、80点以上90点未満をB、70点以上80点未満をC、60点以上70点未満をD、59点以下はF(不可)とする。また評価には値しないが習得レベルに達したと判断された場合はPとする。 成績評価は、課題物評価、試験等により行う。			
長期休み	■学年始: 4月1日～4月14日 ■夏季: 8月1日～8月31日 ■冬季: 12月20日～1月10日 ■学年末: 2月17日～3月31日		卒業・進級条件	学校長および教職員による卒業・進級判定会議において認定されること。以下の①～④を総合的に判断して認定する。 ①課題物評価 ②出席率 ③授業態度 ④成績 ・学費を完納していること。			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 電話・メールでの連絡、担任面談、自宅訪問、保護者連絡 など		課外活動	■課外活動の種類 国内外コンテスト参加、学園祭、海外研修旅行 など ■サークル活動: 無			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 (株)TASAKI、(株)俄、(株)ケイ・ウノ など ■就職率^{※1} : 96.4 % ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} : 80.9 % ■その他 海外留学、進学、オリジナルブランドの立ち上げ など (平成 28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	貴金属装身具製作技能検定【3級・2級】 ジュエリーコーディネーター検定【3級・2級】 水野学園 職業技能検定 CAD部門【3級・2級・1級】 ジュエリー部門 ・デザイン【3級・2級・1級】 ・メタル【3級・2級・1級】 ・WAX【3級・2級・1級】			
中途退学の現状	■中途退学者 6名 ■中退率 9.7 % 平成28年4月1日 在学者 62名 (平成28年4月1日 入学者を含む) 平成29年3月31日 在学者 56名 (平成29年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 経済上の理由、健康上の理由、履修上の理由 など ■中退防止のための取組 担任制、出席状況・課題提出状況を書した保護者通知の発送(年2回)、学校長メールアドレスの全学生公開、専門医によるカウンセリング、学生相談、個人面談 など						
ホームページ	URL: http://hiko-osaka.jp/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

ジュエリー・アクセサリ業界において、商品開発(企画・デザイン・製作)ならびに商品販売、および関連する商品知識を持った人材を育成するために、同業界の企業と連携して以下の①～④を踏まえた教育課程の編成を行う。具体的には、新たな科目の設定、既存科目の内容・教育手法の改善、教材の開発、ジュエリーデザイナー、製作者、販売スペシャリストとして必要となる知識や技術など実践的かつ専門的な職業教育の実施に向けた協議・検討することを基本方針とする。

- ①新商品企画に関するマーケットリサーチや商品開発力の育成
- ②各種PCソフトや3DCADデザイン技術を含めた、商品デザイン力の育成
- ③オーダーメイドから量産までに対応する商品製作の技術力の育成
- ④商品の販売に関わる流通や店舗企画力、顧客対応力の育成と、関連する商品知識の習得

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年5月1日現在

名前	所属
山内 秀夫 様	大阪ジュエリー工芸協同組合 副理事長
麻野 正紀 様	アップライト 代表
奥野 剛司 様	おくの宝飾 代表取締役
藤本 久幸 様	藤本商店 代表

(開催日時)

第1回 平成29年2月22日 14:00～15:15

第2回 平成29年8月30日 14:00～14:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

多様化するジュエリーマーケットの現状を把握し、業界において即戦力をもった人材を育成するために、連携する企業より商品の企画から製品化までの流れを享受ならびに学生作品の評価を受けることを基本方針とする。

科目名	科目概要	連携企業等
メーキング基礎実習Ⅱ-8 (ワイヤーセッティングペンダント)	プラチナの加工方法を学び、掘り留めを施したペンダントを制作する。	大阪ジュエリー工芸協同組合

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

実務に関する知識、技術、技能などの向上のため、人材開発や教育指導力の教育専門機関による研修、各業界から専門家を招聘しての専門技術・専門知識の研修を研修規定に則して計画的に実施する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年5月1日現在

名前	所属
藤本 久幸 様	大阪ジュエリー工芸協同組合 理事長
山内 秀夫 様	大阪ジュエリー工芸協同組合 副理事長

(学校関係者評価結果の公表方法)

http://hiko-osaka.jp/quickcode/hiko/themes/osaka_pc/common/css/images/about_info/osaka_h28_hyouka.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

http://hiko-osaka.jp/quickcode/hiko/themes/osaka_pc/common/css/images/about_info/osaka_h28_jouhou.pdf

授業科目等の概要

(ジュエリー専門課程ジュエリー研究科 列E行イブジュEリ-コース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デザイン基礎実習Ⅰ-1 (ジュエリーデザイン基礎)	ジュエリー独特の立体表現を理解し、様々なデザインリングの表現方法を学習する。	1前	32				○	○		○		
○			デザイン造型実習Ⅰ-1 (デザイン展開基礎)	具象物をモチーフにし、ジュエリーにおけるデザイン展開の方法や、二面図による製図表現を学習する。	1前	32				○	○		○		
○			デザイン基礎実習Ⅰ-2 (パース技法 基礎Ⅰ)	透視図法の基本を習得し、ジュエリーレンダリングの基礎を学習する。	1前	32				○	○		○		
○			デザイン基礎実習Ⅰ-3 (パース技法 基礎Ⅱ)	透視図法を応用し、ジュエリーレンダリングにおける基礎とその表現方法を学習する。	1通	32				○	○		○		
○			デザイン造型実習Ⅰ-2 (デザイン展開Ⅰ)	具象物をモチーフにし、ジュエリーにおけるデザイン展開の方法や、二面図による製図表現を学習する。	1通	32				○	○		○		
○			デザイン造型実習Ⅰ-3 (立体構成)	ジュエリーデザインの基礎として、アイデアの展開と立体の構成について学習する。	1後	32				○	○		○		
○			デザイン基礎実習Ⅰ-4 (パース技法 基礎Ⅲ)	リングの構造をふまえた表現方法と宝石の表現等を学習する。	1後	32				○	○		○		
○			デザイン造型実習Ⅰ-4 (デザイン展開Ⅱ)	テーマによるジュエリーデザインの展開、発想からのアイデア展開、プレゼンテーションまでを学習する。	1後	32				○	○		○		
○			コンピューター演習 (CADによるリング制作基礎)	CADソフトの基本的な操作と、出力した立体造形物の制作工程の基礎を学習する。	1後	32			○		○		○		
○			メーキング基礎実習Ⅰ-1 (リング制作 基礎Ⅰ)	地金加工工具の取り扱いを学び、基本的なリングサイズの出し方や制作工程、シルバーの仕上げを学習する。	1前	40				○	○		○		
○			メーキング基礎実習Ⅰ-2 (リング制作 基礎Ⅱ)	甲丸リングの制作工程とテクニックを学習する。	1前	40				○	○		○		
○			メーキング基礎実習Ⅰ-3 (ワックス造型 基礎)	WAX原型制作に必要な工具の使い方、切削、裏抜き、仕上げまでの工程を学習する。	1前	40				○	○		○		
○			メーキング造型実習Ⅰ-1 (立体造形 基礎Ⅰ)	1枚の指定された形の板から、切込み、曲げ、接合などの限られた加工での立体的な造形表現を学習する。	1前	32				○	○		○		

○	メーキング基礎実習Ⅱ-8 (ワイヤーセッティングペンダント)	掘り留めを施したペンダントを制作する。	2後	32					○	○								
○	メーキング基礎実習Ⅱ-9 (銀パラジウム ファンシーカットリング)	エメラルドカットの石座をはじめ、各種石座の制作及びリングプロポジションを習得する。	2後	128					○	○								
○	メーキング造型実習Ⅱ-2 (18Kジュエリー)	18Kを使用したジュエリーを制作し、18Kの加工方法を学習する。	2後	168					○	○								
○	学外研修	ジュエリー・宝石関連等の販売会・美術館・展示会場等の見学または参加を通じて、デザイン・制作知識および生産・流通・販売等の業界知識について学習する。	2前	20					○		○	○						
○	特別セミナー	外部から講師を招聘し、専門分野における最新の情報・知識を学習する。	2後	4					○			○						○
	○ 自主制作/自由制作	習得した技術をさらに向上させるため、自主的に研究・学習する。	2通	132								○	○					○
○	デザイン基礎実習Ⅲ-1 (ジュエリードリル)	宝石を用いた高級宝飾品の画像を模写することで描写力を学習する。	3前	32								○	○					○
○	デザイン造形実習Ⅲ-1 (ポートフォリオ制作)	作品のテーマやコンセプトを他人に伝えるためのツールとしてポートフォリオを制作する。自作品を撮影してPC上で配置や画像加工等の技術を学習する。	3前	32								○	○					○
○	デザイン基礎実習Ⅲ-2 (事業計画)	外部講師を招聘して、会社経営におけるマネーマネジメントをゲーム形式で学習する。	3前	32								○	○					○
○	デザイン造形実習Ⅲ-2 (学園祭商品企画)	学園祭に出展する作品を企画・デザインし、販促物からVMDまでを行う。	3前	32								○	○					○
○	デザイン基礎実習Ⅲ-3 (卒業制作デザイン・プレゼンテーション)	3年間の集大成として、知識、技術、思考力を発揮する作品をデザインする。メーキング授業で実作する。	3後	32								○	○					○
○	デザイン造形実習Ⅲ-3 (カレッジリングデザイン)	キャンパスライフの思い出と本校の卒業の証でもある専門士の称号を刻み込む記念リングを企画・デザインする。	3後	40								○	○					○
○	デザイン造形実習Ⅲ-4 (イメージブック作成)	3年間の集大成として、卒業制作展に出展する作品のイメージおよびプロセスをまとめた本を制作する。PCの使用法及び本の装丁までを学習する。	3後	48								○	○					○
○	コンピューター演習Ⅲ-1 (モデリング・原型制作)	3D-CADソフトを用いて様々なジュエリーのモデリングを実習し原型制作を行い、3D-CADの操作技術を深める。	3前	40					○			○						○
○	メーキング基礎実習Ⅱ-1 (洋彫り)	洋彫りリタガネを用いて彫り技法による模様彫り印台リングを制作する。	3前	96								○	○					○
○	メーキング造形実習Ⅲ-1 (企業コラボ課題)	産学共同プログラムとしてメガネのフレームに用いられるアセテート素材の提供を受け、異素材ジュエリーの商品提案を行う。	3通	64								○	○					○
○	メーキング造形実習Ⅲ-2 (百貨店展示会出品)	学外の会場にて展示販売会を開催する。販売を目的とした作品制作、値付け、台帳制作、ディスプレイ、販売するまでの流れを学習する。	3前	96								○	○					○

○	○	メーキング基礎実習Ⅲ-2 (グラニュレーション・フィリグリー)	海外の伝統技法であるグラニュレーション及びフィリグリー技法を学習し、オリジナルジュエリーを制作する。	3前	32					○	○						
○	○	メーキング造形実習Ⅲ-3 (木目金実習)	日本の伝統技法である木目金技法を学習し、学園祭出展作品を制作する。	3通	104					○	○						
○	○	メーキング造形実習Ⅲ-4 (象嵌・七宝)	日本の伝統技法である象嵌や七宝技法を用いてカフスを制作するほか、煮色による着色実習も行う。	3後	80					○	○						
○	○	メーキング造形実習Ⅲ-5 (卒業制作)	3年間の集大成として、知識、技術、思考力を発揮する作品を制作する。阪急百貨店うめだ本店で実施される卒業制作展にて発表する。	3後	272					○	○						
○		卒業テスト	ジュエリーの制作・デザイン・宝石・ビジネスに関わる知識を試験を通して確認する。	3後	8				○		○						
○		学外研修	ジュエリー・宝石関連等の販売会・美術館・展示会場等の見学または参加を通じて、デザイン・制作知識および生産・流通・販売等の業界知識について学習する。	3前	20					○		○	○				
○		特別セミナー	本学創立の歴史や学園の遍歴を通してその学園理念を学習する。	3後	4				○			○					
	○	自主制作/自由制作	習得した技術をさらに向上させるため、自主的に研究・学習する。	3通	132						○	○					
○	○	デザイン造形実習Ⅱ-1 (ブランドプロトタイプ制作)	学園祭にて発表するオリジナルブランドの企画・デザインを行う。	2前	64						○	○					
○	○	デザイン造形実習Ⅱ-2 (ラインナップデザイン)	学園祭にて発表するオリジナルブランドのラインナップデザイン及びディスプレイデザインを行う。	2前	72						○	○					
○	○	デザイン造形実習Ⅱ-3 (カレッジリングデザイン)	キャンパスライフの思い出と本校の卒業の証でもある専門士の称号を刻み込む記念リングを企画・デザインする。	2後	64						○	○					
○	○	デザイン造形実習Ⅱ-4 (マイブランドオリジナルバックルデザイン)	オリジナルのバックルとベルトをデザインする。デザインした課題は制作授業で実作する。	2後	48						○	○					
○	○	コンピューター演習 (原型制作)	PCを用いて3Dソフトを操作し、デザイン及びデータ作成方法を学習する。	2前	40					○		○					
○	○	メーキング基礎実習Ⅱ-1 (量産リング仕上げ)	量産品制作の基本である鑄造リングのサイズ直し及び磨き技法を学習する。	2前	32						○	○					
○	○	メーキング基礎実習Ⅱ-2 (WAX模刻)	切削、盛り等のワックステクニックを学習し、立体感覚と観察力を強化する。	2前	40						○	○					
○	○	メーキング造形実習Ⅱ-1 (WAXリング)	動物をモチーフに目に石留めを施したリングを制作する。	2前	64						○	○					

○	○	メイキング基礎実習Ⅱ-3 (WAXモデリング)	人の横顔(写真)をレリーフ(半立体)で表現する。	2前	32						○	○	○				
	○	メイキング造型実習Ⅱ-2 (ブランド商品制作)	学園祭へ出展する、オリジナルブランドの制作	2前	192						○	○	○				
	○	メイキング基礎実習Ⅱ-4 (レザーウォレット)	革の基本的な知識と制作プロセスを学習する。	2後	32						○	○	○				
	○	メイキング造形実習Ⅱ-3 (レザーアイテム)	革の扱いを理解し、購入方法と制作プロセスを学習する。また、オリジナルブランドからの新アイテムを商品展開する。	2後	128						○	○	○				
	○	メイキング造型実習Ⅱ-4 (七宝タイ・バー)	七宝技法及びタイ留め金具の基本構造を学習し、オリジナルタイ・バーを制作する。	2後	32						○	○	○				
	○	メイキング造形実習Ⅱ-5 (テーマジュエリー制作)	テーマに沿って作品を制作し、第三者から評価を受け、自己デザインのニーズを問う。	2後	96						○	○	○				
	○	メイキング造型実習Ⅱ-6 (プレスレット)	プレスレットの構造を理解し制作プロセスを学習する。	2後	96						○	○	○				
○		学外研修	ジュエリー・宝石関連等の販売会・美術館・展示会場等の見学または参加を通じて、デザイン・制作知識および生産・流通・販売等の業界知識について学習する。	2前	20						○	○	○				
○		特別セミナー	本学創立の歴史や学園の遍歴を通してその学園理念を学習する。	2後	4					○		○	○				
	○	自主制作/自由制作	習得した技術をさらに向上させるため、自主的に研究・学習する。	2通	132						○	○	○				
	○	デザイン基礎実習Ⅲ-1 (ジュエリードリル)	宝石を用いた高級宝飾品の画像を模写することで描写力を学習する。	3前	32						○	○	○				
	○	デザイン造形実習Ⅲ-1 (ポートフォリオ制作)	作品のテーマやコンセプトを他人に伝えるためのツールとしてポートフォリオを制作する。自作品を撮影してPC上で配置や画像加工等の技術を学習する。	3前	32						○	○	○				
	○	デザイン基礎実習Ⅲ-2 (事業計画)	外部講師を招聘して、会社経営におけるマネーマネジメントをゲーム形式で学習する。	3前	32						○	○					○
	○	デザイン造形実習Ⅲ-2 (学園祭商品企画)	学園祭に出展する作品を企画・デザインし、販促物からVMDまでを行う。	3前	32						○	○	○				

○	デザイン基礎実習Ⅲ-3 (卒業制作デザイン・プレゼンテーション)	3年間の集大成として、知識、技術、思考力を発揮する作品をデザインする。メイキング授業で実作する。	3 後	32					○	○	○			
○	デザイン造形実習Ⅲ-3 (カレッジリングデザイン)	キャンパスライフの思い出と本校の卒業の証でもある専門士の称号を刻み込む記念リングを企画・デザインする。	3 後	40					○	○	○			
○	デザイン造形実習Ⅲ-4 (イメージブック作成)	3年間の集大成として、卒業制作展に出展する作品のイメージおよびプロセスをまとめた本を制作する。PCの使用法及び本の装丁までを学習する。	3 後	48					○	○	○			
○	コンピューター演習Ⅲ-1 (モデリング・原型制作)	3D-CADソフトを用いて様々なジュエリーのモデリングを実践し原型制作を行い、3D-CADの操作技術を深める。	3 前	40				○	○	○				
○	メイキング基礎実習Ⅱ-1 (洋彫り)	洋彫りタガネを用いて彫り技法による模様彫り印台リングを制作する。	3 前	96					○	○	○			
○	メイキング造形実習Ⅲ-1 (企業コラボ課題)	産学共同プログラムとしてメガネのフレームに用いられるアセテート素材の提供を受け、異素材ジュエリーの商品提案を行う。	3 前	64					○	○	○			○
○	メイキング造形実習Ⅲ-2 (百貨店展示会出品)	学外の会場にて展示販売会を開催する。販売を目的とした作品制作、値付け、台帳制作、ディスプレイ、販売するまでの流れを学習する。	3 前	96					○	○	○			
○	メイキング基礎実習Ⅲ-2 (グラニュレーション・フィリグリー)	海外の伝統技法であるグラニュレーション及びフィリグリー技法を学習し、オリジナルジュエリーを制作する。	3 前	32					○	○	○			
○	メイキング造形実習Ⅲ-3 (木目金実習)	日本の伝統技法である木目金技法を学習し、学園祭出展作品を制作する。	3 通	104					○	○	○			
○	メイキング造形実習Ⅲ-4 (象嵌・七宝)	日本の伝統技法である象嵌や七宝技法を用いてカフスを制作するほか、煮色による着色実習も行う。	3 後	80					○	○	○			
○	メイキング造形実習Ⅲ-5 (卒業制作)	3年間の集大成として、知識、技術、思考力を発揮する作品を制作する。阪急百貨店うめだ本店で実施される卒業制作展にて発表する。	3 後	272					○	○	○			
○	卒業テスト	ジュエリーの制作・デザイン・宝石・ビジネスに関わる知識を試験を通して確認する。	3 後	8				○		○	○			
○	学外研修	ジュエリー・宝石関連等の販売会・美術館・展示会場等の見学または参加を通じて、デザイン・制作知識および生産・流通・販売等の業界知識について学習する。	3 前	20					○		○	○		
○	特別セミナー	本学創立の歴史や学園の遍歴を通してその学園理念を学習する。	3 後	4				○		○	○			
○	自主制作/自由制作	習得した技術をさらに向上させるため、自主的に研究・学習する。	3 通	132					○	○	○			
合計				105科目	5992単位時間()									単位

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件＝卒業までに必要な履修科目をすべて履修していること。 必修科目のすべてを履修していること。自由選択科目は対象外。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	26週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。